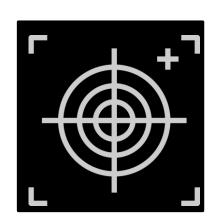
短期大学への進学理由が在学時の学びや成長の実感に及ぼす影響とは

○山崎慎一(桜美林大学)○堺完(大分大学)宮里翔大(桜美林大学・院)黄海玉(短期大学基準協会)



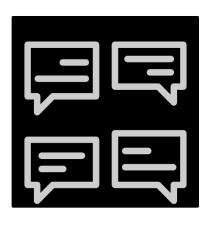
研究目的

- 短期大学教育の有用性に関する学生の認 識を明らかにする
- 有用性=役立ちは、満足度や充実と学修 成果から規定されると仮定
- 有用性に関する学生の認識は進学理由に よって変化するのか
- 前年度試みた同一の研究手法を検証



研究結果

- 積極的進学者は、学修行動、満足度、 学修成果、短大総合満足度のすべてに おいて高い傾向にあった
- 目的なく進学してきた学生は、他の学 生タイプに比べて、明らかに学修経験 や成果、満足などを得られていない実 情がうかがえた
- 研究手法として一定の妥当性を確認



論点

- 約1割程度と一定数いる「消極的 に進学してきた学生」に対して も、短大教育が「役立った」と 思ってもらえるようにするには何 をすれば良いのか
- 入学前後のミスマッチを軽減し、 短期大学の教育にできるだけ関 わってもらえるような取り組みの 必要性

表1:進学理由因子分析

短大興味・ 就職・専門 他者からの 学費・経済 雰囲気 興味 すすめ 的支援 -.025 キャンパスの雰囲気が良さそうだった .840 .027 -.006 オープンキャンパスでの印象 .833 -.060 .027 -.002 専門分野以外の幅広い内容が学べる .423 -.069 .143 .064 就職するのに必要な資格が取れる .959 -.055 -.113 -.013 就職に有利 .046 .535 .140 .099 自分の興味があることや専門分野の内容が学べる .214 .475 -.111 .034 .644 -.069 家族や親せきからのすすめ .007 -.004 高校の先生からのすすめ .529 .032 -.005 .050 奨学金や学費免除などの経済的なサポートがもらえる .623 -.002 -.026 -.012 4年制大学より学費がかからない .530 .008 .056 -.021

固有值

寄与率

2.57

25.66

①最尤法、プロマックス回転、因子負荷0.4以上太字+網掛け

因子分析の結果として、「Ⅰ:短大の雰囲気」「Ⅱ:就職・専門興味」 「III:身近な人からのすすめ」「IV:学費・経済的支援」の4因子を抽出

表2:クラスター分析による学生分類

クラスター1 クラスター2 クラスター3 クラスター4 就職軽視 就職重視 積極進学 消極進学 -1.28 短大雰囲気 0.15 -0.64 0.72 0.30 -1.760.67 就職・専門興味 -0.700.08 -0.41-0.920.50 他者のすすめ -0.28-1.01 0.01 学費・経済的支援 0.48 (3719)(4701)(6714)(1873)(ケース数)

②非階層的クラスター分析(K-Means法)を実施 4クラスター解とし、各クラスターのケース数と各因子得点のク ラスター中心を表としてまとめた

■積極的進学

■消極的進学

就職重視

3.4

「成果」に関連する設問の因子分析結果

・学修行動(Q11)

I:アクティブラーニンク゛

Ⅱ:授業への(消極的)姿勢・態度*

Ⅲ:課題・テスト対応

選択肢1=まったくなかった、2=あまりなかった、3=ときどきあった、4=よくあった *逆転項目含む

- ・満足度(Q17) (Q18)
 - I:施設・サービス
- Ⅱ:教育内容

選択肢1= 不満、 2=やや不満、 3=普通、 4=やや満足、5=満足

- ・学修成果(Q19)
- I:知識・汎用的技能 Ⅱ:態度・志向性・習慣
- Ⅲ:分析力・読解力・語学力
- 選択肢1= 大きく減った、 2=減った、 3=変わってない、 4=増えた、5=大きく増えた

・充実度(Q23)・他者推奨度(Q24)・総合評価(Q25)

I:短大総合満足度(1因子のみ抽出(一因性))

Q23充実度:選択肢1=充実していない 5=充実している Q24他者推奨度:選択肢1=すすめられない~ 5=すすめられる Q25総合評価(他の学生、短大の先生、事務職員、 キャンパス、短大での学び) :選択肢1=親しみにくい 5=親しみやすい

:選択肢1=居心地が悪い :選択肢1=全く学べていない

5=居心地がいい 5=十分学べている

満足度Ⅱ:教育内容 学修成果 I:知識・汎用的技能 学修成果 II:態度・志向性・習慣

0.46

4.64

学修行動 I:アクティブラーニング

学修行動 II:授業への姿勢・態度

学修行動Ⅲ:課題・テスト対応

満足度 I:施設・サービス

0.65

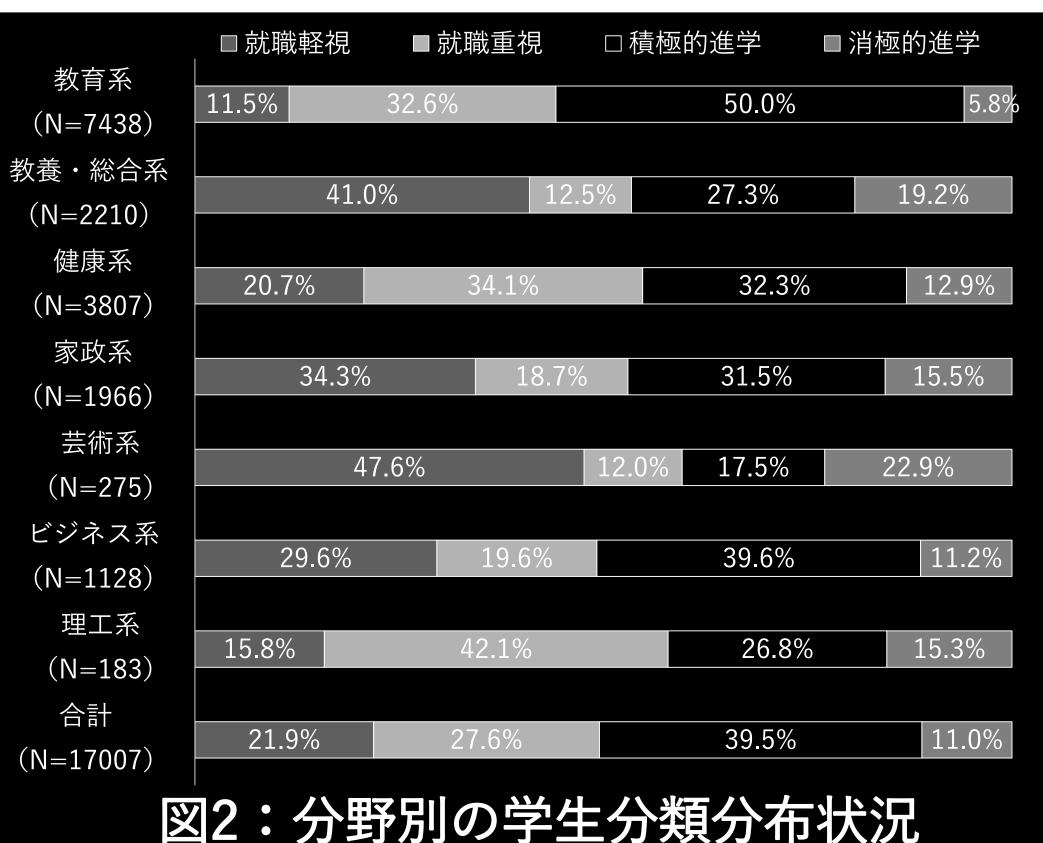
6.52

0.90

9.04

■就職軽視 学修成果Ⅲ:分析力・読解力・語学力 3.4 短大総合満足

図1:進学理由別学修行動・満足度・学修成果の平均値比較



- ・分野ごとに進学理由タイプの分布は異なる
- ・積極的進学者層の多い「教育系」
- ・就職重視者層の多い「健康系」
- ・就職軽視者層および消極的進学者総の多い 「教養・総合系」「芸術」
- ・分野に関わらず積極的進学者層の短大総合満足度 は高い傾向
- ・消極的進学者層の短大総合満足度はいずれの分野 においても低い傾向
- *「芸術系」「理工系」は該当人数が少ないため省略

2.9 3.3 2.9 3.1

図3:分野別*進学タイプ別の短大総合満足度比較

今後の課題

- 地域や規模、専門分野といった短期大学の特徴を踏まえた上で、内部質保証に資する情報の提供ができ るか引き続き検討
- 特に分野別によって、入学動機をはじめとして、短期大学教育の有用性の認識の仕方にどういった差異 が見られるか